

総合診療部を受診される患者さん・御家族の方々へ

大分大学総合診療部外来では消化器症状で受診した患者さんを中心にヘリコバクター・ピロリ感染の有無を尿中抗体法で測定しております。

- ・ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)感染症は消化性潰瘍や胃癌、胃 MALT(マルト)リンパ腫などの消化器の疾患だけでなく、特発性血小板減少性紫斑病(ITP)や鉄欠乏性貧血などの胃以外の疾患との関係も報告され、2010年6月には特発性血小板減少性紫斑病に対してもピロリ菌の除菌療法が保険適応となりました。このように消化器疾患や様々な疾患とピロリ菌の関係を証明する方法として、その疾患におけるピロリ菌感染率が高いこと、あるいは除菌療法によりその疾患が改善すること、などの方法があります。また衛生状態の改善に伴いピロリ菌感染率は徐々に低下しており、疫学的観点からもピロリ菌の感染率を年時単位で観察することは重要です。そこで今回の研究では大分大学総合診療部の外来を初診した患者さんに対し尿中抗体法を用いることでピロリ菌感染の有無を確認し、病気ごとのピロリ菌陽性率や大分県の感染率の動向を検討しております。
- ・測定費用については大分大学総合診療科学講座の研究費にて賄い、患者さん個人への追加費用は発生しません。
- ・この研究の結果はきちんと記録し、学会や医学雑誌に発表されることがあります。しかしいずれの場合にもあなたのプライバシーに関するすべての秘密を保持することを保証します。
- ・原則的に当科を受診される患者さんにおいては測定をさせていただきますが、もしご協力いただけないようであればその旨遠慮なくお知らせください。同意されなくても、当院では同じように最善の医療を提供いたします。何かご質問があれば、当院の担当者に申し出てください。

なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究にご協力いただけない場合の連絡先

連絡先 大分大学総合診療科学講座
(電話) 097-586-6193